

1. 団体区別ラスパイレス指数

(ポイント)

- 令和6年4月1日現在の県内市町村における一般行政職の給与水準は、ラスパイレス指数で見ると市平均(98.4)、町村平均(95.9)、市町村平均(97.6)と、市町村全体としては、昨年から±0.0となっており、平成26年(10年前)と比較すると-0.3となっている。
- 令和6年4月1日現在の県内平均は全国平均と比較すると、市町村平均で全地方公共団体平均より1.2低い数値となっており、市平均で全国市平均と0.2低い数値となっており、町村平均で全国町村平均より0.5低い数値となっている。

第1表 県内市町村の団体区別ラスパイレス指数(一般行政職)

区分	H26.4.1	R5.4.1	R6.4.1	増減		
				H26→R6	R5→R6	
県内	市平均	98.9	98.5	98.4	▲0.5	▲0.1
	町村平均	95.8	95.7	95.9	0.1	0.2
	市町村平均	97.9	97.6	97.6	▲0.3	0.0
全国	市平均	98.6	98.6	98.6	0.0	0.0
	町村平均	95.6	96.3	96.4	0.8	0.1
	全地方公共団体平均	98.9	98.8	98.8	▲0.1	0.0

2. ラスパイレス指数の分布状況

(ポイント)

令和6年4月1日現在、県内市町村における分布は、「95以上～100未満」で18団体となっており、「90以上～95未満」で6団体となっている。

第2表 県内市町村のラスパイレス指数の分布状況(一般行政職)

区分	H26.4.1	R5.4.1	R6.4.1	増減(割合)	
				H26→R6	R5→R6
105以上	-	-	-	-	-
100以上～105未満	1(4.2%)	-	-	▲4.2%	-
95以上～100未満	18(75.0%)	19(79.2%)	18(75.0%)	0.0%	▲4.2%
90以上～95未満	5(20.8%)	5(20.8%)	6(25.0%)	4.2%	4.2%
90未満	-	-	-	-	-
県内市町村計	24	24	24		

<参考：ラスパイレス指数100以上の団体(数値が高い順)>
平成26年4月 徳島市(101.0)

令和5年4月 該当団体なし

令和6年4月 該当団体なし

3. 団体別ラスパイレス指数の状況

(ポイント)

県内市町村におけるラスパイレス指数の変動要因としては、採用・退職等職員構成の変動による影響などが考えられる。

第3表 県内市町村のラスパイレス指数（一般行政職）

団体名	R5. 4. 1	R6. 4. 1	増減 (R6-R5)
徳島市	99.1	99.0	▲ 0.1
鳴門市	96.8	96.8	0.0
小松島市	98.7	98.9	0.2
阿南市	97.7	98.2	0.5
吉野川市	99.2	99.1	▲ 0.1
阿波市	99.3	98.8	▲ 0.5
美馬市	98.3	99.0	0.7
三好市	97.7	97.1	▲ 0.6
県内市平均	98.5	98.4	▲ 0.1
全国市平均	98.6	98.6	0.0
勝浦町	95.9	95.8	▲ 0.1
上勝町	95.1	94.0	▲ 1.1
佐那河内村	98.2	94.7	▲ 3.5
石井町	99.2	99.0	▲ 0.2
神山町	96.8	95.1	▲ 1.7

団体名	R5. 4. 1	R6. 4. 1	増減 (R6-R5)
那賀町	95.4	95.3	▲ 0.1
牟岐町	96.4	96.9	0.5
美波町	92.6	94.2	1.6
海陽町	90.5	90.5	0.0
松茂町	92.8	94.5	1.7
北島町	94.7	95.4	0.7
藍住町	96.0	95.9	▲ 0.1
板野町	96.5	96.9	0.4
上板町	95.6	96.1	0.5
つるぎ町	93.2	93.9	0.7
東みよし町	98.4	98.2	▲ 0.2
県内町村平均	95.7	95.9	0.2
全国町村平均	96.3	96.4	0.1
県内市町村平均	97.6	97.6	0.0
全地方公共団体 平均	98.8	98.8	0.0

※各平均値は加重平均により算出。

※ラスパイレス指数の算出に当たっては、60歳に達した日後の最初の4月1日以後に支給される給料月額について、本来の給料月額の7割水準に設定される職員を除いている（国の扱いと同じ）。

<ラスパイレス指数県内 上位4団体>

①吉野川市（99.1） ②徳島市（99.0） ③美馬市（99.0） ④石井町（99.0）

<ラスパイレス指数県内 下位3団体>

①海陽町（90.5） ②つるぎ町（93.9） ③上勝町（94.0）

(参考) ラスパイレス指数とは

国の行政職俸給表(一)の適用職員の給与水準を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準

職員構成を学歴別、経験年数別に区分し、地方公共団体の職員構成が国の職員構成と同一と仮定して算出するものであり、地方公共団体の仮定給料総額(地方公共団体の学歴別、経験年数別の平均給料月額に国の職員数を乗じて得た総和)を国の実俸給総額で除して得る加重平均である。

(ポイント)

- ① ラスパイレス指数は、統計処理上の加重平均の一方法によって得られた指数であり、総合的な給与水準比較の結果である。
- ② ラスパイレス指数が増加、減少する要因として、国と異なった給料表の構造や給与制度・運用が行われた場合、職員構成が変動した場合等がある。
職員数が少ない小規模町村では、1人の職員の変動がラスパイレス指数に与える影響は大きくなる。
- ③ 各団体において、ラスパイレス指数の分析を通じて、給与実態をよりの確に把握し、給与水準、給与制度・運用の在り方を検討する資料とすることが求められる。

【計算例】

(大 学 卒)

経験年数	職員数(人) 国 A	平均俸給(給料)月額(百円)		A×B (百円) D	A×C (百円) E
		国 B	対象団体 C		
1年未満	3,332	2,024	1,965	6,743,968	6,547,380
1年以上2年未満	3,315	2,079	2,010	6,891,885	6,663,150
2年以上3年未満	3,479	2,148	2,062	7,472,892	7,173,698
3年以上5年未満	7,262	2,254	2,168	16,368,548	15,744,016
5年以上7年未満	6,339	2,407	2,290	15,257,973	14,516,310
7年以上10年未満	8,373	2,607	2,439	21,828,411	20,421,747
10年以上15年未満	9,595	2,959	2,723	28,391,605	26,127,185
15年以上20年未満	10,645	3,424	3,140	36,448,480	33,425,300
20年以上25年未満	13,025	3,743	3,592	48,752,575	46,785,800
25年以上30年未満	12,414	3,972	3,879	49,308,408	48,153,906
30年以上35年未満	9,151	4,061	4,030	37,162,211	36,878,530
35年以上	2,440	4,074	4,125	9,940,560	10,065,000
計	89,370			F 284,567,516	G 272,502,022

(短 大 卒)

計	7,948			H 25,432,435	I 25,576,556
---	-------	--	--	-----------------	-----------------

(高 校 卒)

計	41,948			J 140,983,378	K 142,222,709
---	--------	--	--	------------------	------------------

(中 学 卒)

計	32			L 70,859	M 70,607
---	----	--	--	-------------	-------------

$$\begin{aligned}
 \text{ラスパイレス指数} &= \frac{G + I + K + M}{F + H + J + L} \times 100 \\
 &= \frac{(272,502,022) + (25,576,556) + (142,222,709) + (70,607)}{(284,567,516) + (25,432,435) + (140,983,378) + (70,859)} \times 100 \\
 &= 97.63 \qquad \qquad \qquad = 97.6 \text{ (小数点以下第2位四捨五入)}
 \end{aligned}$$